

北海道作業療法士会 自助具コンテスト 応募作品の概要

*A4 用紙 3 枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

<p>作品の名称</p>	<p>※20 文字以内で記入 ワンハンドバンド</p>
<p>対象者の 領域</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 身体障害 (○)、精神障害 ()、発達障害 ()、高齢者 ()、 その他 ()</p>
<p>自助具の 分類</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 食事動作 ()、整容動作 ()、更衣動作 ()、排泄動作 ()、入浴動作 ()、 コミュニケーション ()、趣味・余暇活動 () その他 (IADL)</p>
<p>用具の種類</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 工夫・改良品 (○)、個別製作品 () ※ 工夫・改良品市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、個別製作品アイデアから個別に製作したオリジナルな物、 とする</p>
<p>応募作品の 概要</p>	<p>※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。</p> <p>作品の目的は、タッパーやフードパックなどの対象物に輪ゴムを通すことであり、適応症例としては、片麻痺など片方の上肢が使えない障害を持つ方が挙げられる。小さい物に関しては何とか片手で輪ゴムをとめることができるが、大きい物の場合片手でとめることが困難である。そのため、大きい物でも片手で輪ゴムを扱う方法がないか考え、このような作品を作製した。</p>
<p>工夫した ポイント</p>	<p>滑り止めマットを巻くことで使用時に滑りにくくした。また、フックの固定に針金を使用したことで、輪ゴムをかけた際輪ゴムの収縮力でフックが外れることなく使うことができる。</p>
<p>利用上の 留意点</p>	<p>※使用上の注意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。</p> <p>耐久性に関しては、仮止めに接着剤を使用し、その上から針金で固定しているためフックが取れる心配はないが、長期使用すると針金が劣化してくるため注意が必要である。</p> <p>下に滑り止めを巻いているが、輪ゴムが硬いと本体がズレてしまうことがある。これについては、片麻痺の方であれば麻痺側上肢、重い物を重りにすることで防ぐことができる。</p>

作
製
の
準
備

※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。

材料：編み籠の枠組み、フック、滑り止めマット、針金

材料費：550 円程度

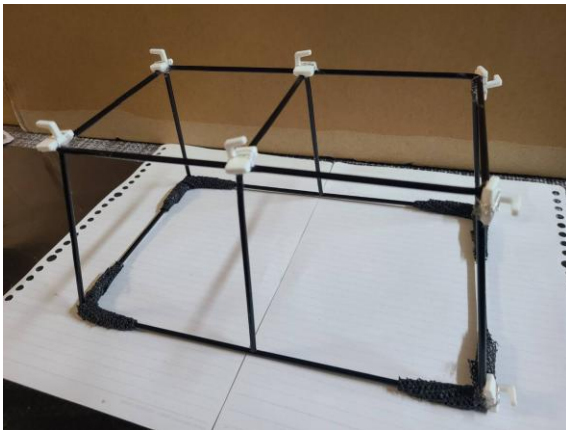
道具：接着剤、ペンチ、カッター、ハサミ

応
募
作
品
の
特
徴

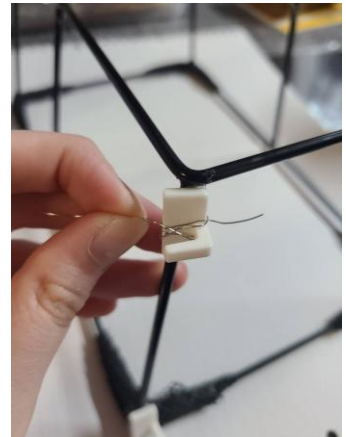
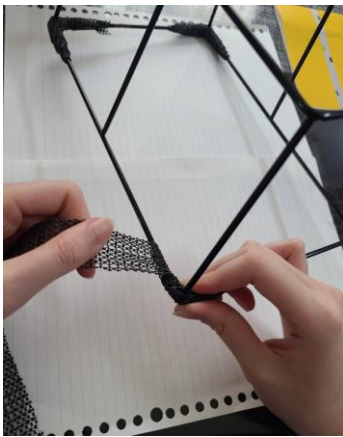
※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。

※画像は最大 10 枚とし、自助具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。

1. 作品の外観

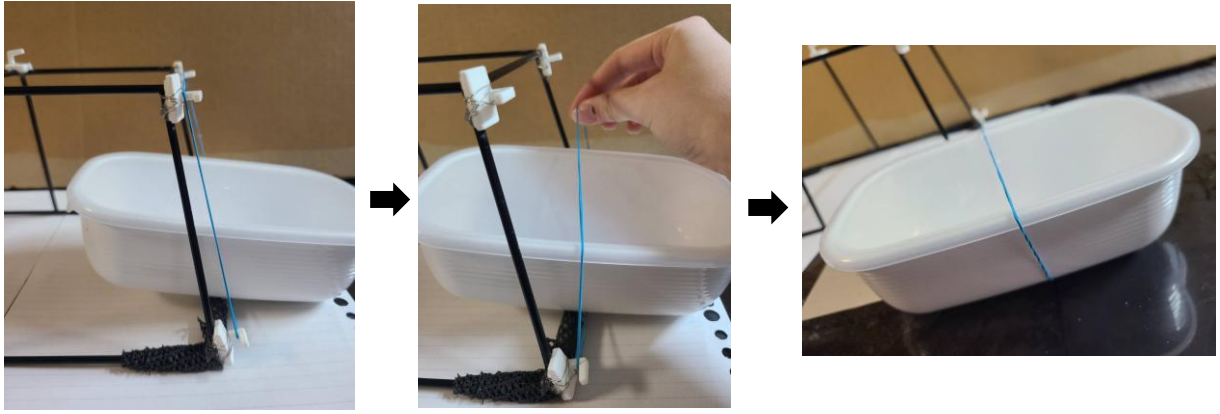


2. 作り方・製作過程



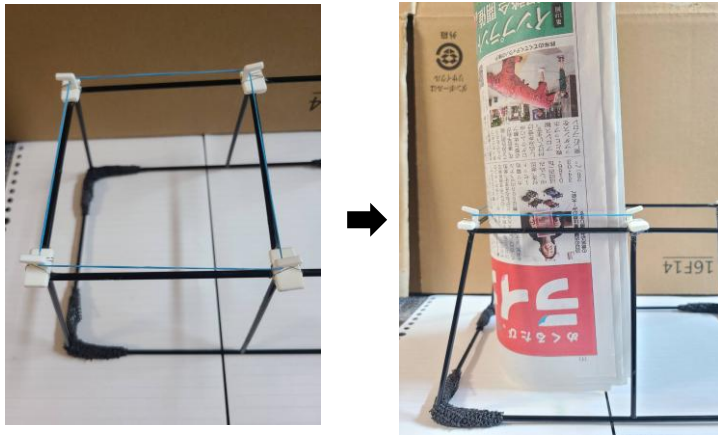
1. 編み籠の網を取る
2. 滑り止めマットをハサミで適当な大きさに切る
3. 下面になる部分に滑り止めマットを巻く
4. フックに接着剤を付け、8箇所に戻止める
5. 戻止めたフックを針金で固定する

3. 活用場面



1. 輪ゴムを4つ角のフックにかける
2. 対象物を枠の中に置く
3. かけた輪ゴムを外す

応募作品の特徴



※ ↑縦でも使用可能

<写真の使用に関して> ※該当する項目()に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている ()、対象者に同意を得ていない ()、該当せず (○)

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。